

<みんな・みんな会員だより> NO. 31 (2020. 11. 5)

木曾川上流域の物販へのご支援・お力添えを！ 源流の里・木祖村の高原荘「宿泊券」でご支援を！

～よろしくお願ひします～

10年前の2010年10月、名古屋市で生物多様性と遺伝子組み換え生物に関する国際会議が開かれました。この会議に向けて、大切な食べ物と農業を守るため、安心して安全な食と農を未来につなげるために「食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク」が作られ、さまざまな取り組みが行なわれました。

みんな・みんなの会もこの市民ネットに加わったことが、有機肥料や無農薬の大豆作りや味噌造りのキッカケになりました。

2011年春から木曾川源流の里・木祖村に約180坪の畑を「高原荘」の笹川さん(写真右)から借りることが出来て、大豆を主に、トウモロコシやかぼちゃなどを作り始めました。木曾川上下流交流・連携の一環として「行きつけの場所」を作りたいと考えていたことと重なり合って、やぶはらスキー場に隣接する「高原荘」で泊まり、または日帰りで5月～11月の期間に月1、2回、畑へ出かけて大豆作りなどを行っています。



今日まで続けることができたのは、笹川さんご夫妻の適切なアドバイスやさまざまな支援のおかげです。

昨年末からの雪不足によってスキー客が激減(この20年間で最少)、そして感染症コロナウイルスの影響で、夏合宿に使っていた関西や関東のスポーツクラブが軒並み中止となったり、観光客が減ったりして、現在に至っています。

<ご支援・お力添えをお願いします>

笹川さんご夫妻を応援するために高原荘「宿泊券」を取り組めます。

☆1泊2食付 大人1人 1万円(税込み) *お楽しみおみやげ付き *別途冬季暖房費
小学生以下1人 8千円(税込み)

☆「宿泊券」の有効期間 2022年3月31日まで。宿泊券1枚につき1人有効

☆申込み:水源の里を守ろう 木曾川流域みんな・みんなの会 担当 近藤 (Tel. 090-4150-6156)
又は FAX 052-741-2588 mail: suigennosato@gmail.com

私たちの大豆作りは、木曾川の上下流交流・連携の具体的取り組みの一環であり、私たちの生活・社会のあり様を問うものにもなっています。作る人、加工する人、消費する人、これらの人びとがつながりあって交流・連携を深めながら、お互いに“見える関係”が作られ、その中で“あたたかいお金”による「小さな経済」が木曾川流域で出来ることを私たちは思い描いています。

木曾川・飛騨川上流域（農山村）で、生産者の顔が見える商品を下流域（都市）で名古屋生活クラブを通して、みんなの会は物販（別紙参照）を取り組み、その売上の2%を「木曾川流域水源の里基金」に積み立て、上流へ還元しています。基金は上流の木曾青峰高校インテリア科・高校生の木製玩具作りに活用されてきています。今年度は、同校インテリア科3年生の3人の女子高生におもちゃ作りを依頼しています。2021年2月に名古屋市科学館へ贈呈します。

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を合言葉に、“人が動き、モノが動き、ココロが動いて”関係が積み重なっていく木曾川上下流交流・連携を取り組んでいきます。（かわさき）

上松町の新しいみんなの場所「KINOTOCO」はじまり！！

こんにちは！長野県木曾郡上松町の地域おこし協力隊です。

上松町地域おこし協力隊では、「木工の東大」とも呼ばれる上松技術専門校を修了した若者が、町に残って木工を生業として働く場所づくり、仕組みづくりを通して地域活性化のための活動をしています。その活動も3年目となるこの春に、上松町の商店街の空き店舗を活用した家具ギャラリーを兼ねた住民の交流の場となるコミュニティスペース「KINOTOCO」完成しました！



改装については、協力隊員だけでなく、町の中学生や木曾郡内・長野県内の大学生や県外から上松町に興味を持ってくださった方など、地域内外の方々にお手伝いを頂きながら楽しくリノベーション作業（写真右上）をしてきました。多くの方のご協力のおかげで、無事に完成を迎えることができました。ありがとうございました！

「KINOTOCO」は、一階は上松町地域おこし協力隊の製作した家具や木工品の



ギャラリー兼コミュニティスペースとして、地域の方がお茶を飲みながらおしゃべりしたり、学生が放課後や休日に勉強したり、料理を持ち寄ってご飯会をしたり。自由に使えるスペースを提供します。また、協力隊が企画したイベントや、住民の皆さんが考えたイベントの会場など「やりたいことを実現できる」場所にしていきたいと考えています。二階は協力隊が作った木工品をふるさと納税返礼品として全国に届けるための商品在庫倉庫。三階はシェアフォトスタジオ。協力隊や上松町の木工家、木曾地域の作家さんたちがPRのための商品写真を撮影できる撮影ブースを作りました。

木曾川の上流下流地域の交流イベントも開催したいと思っています！ぜひ上松町の「KINOTOCO」に遊びにいらしてください！（地域おこし協力隊 小林）

☆「KINOTOCO」☆

住所：〒399-5603

長野県木曾郡上松町駅前通り3-25

mail: agematsu.wlm.info@gmail.com

今年も大豆の収穫作業ができました

2011年、「大豆作り・味噌づくり」を木祖村の畑で大豆作りを始めて今年で10年目となります。

年の春以降、コロナ禍で「味噌の天地返し」の取り組みができず、草取りなどの作業



も予定どおりできませんでした。地元の笹川さんが木酢液の散布やこまめに面倒見てくださったお陰で、大豆は例年通りの実りとなりました。

7月の長雨に続く8月の猛暑そして残暑。「温暖化」の影響を毎年のように感じていますが、大豆のほかに黒豆、ポップコーン、かぼちゃ、落花生、トウガラシ、赤かぶも大きく育ちました。

今回の作業は大きな鞘をつけた大豆を収穫するとともにハザかけして雨・露除けのシートをかけ、下にはこぼれ落ちる豆を受け止めるネットを設置。そのほかの作物も収穫。

1日目は雨が時折強くなる悪天候で思うように作業ははかどらず、冷たい雨と風に大豆を束ねるのも苦労しました。2日目の朝は気温が0℃近くとなり、かなりの冷え込みでしたが好天に恵まれ作業もはかどり昼過ぎに作業を終えました。

～11月14、15日、殻たたき～

大豆は3週間ほど乾燥させて殻たたきを行います。

11月14、15日、一緒に殻たたきをしましょう。参加お待ちしております。(近藤)

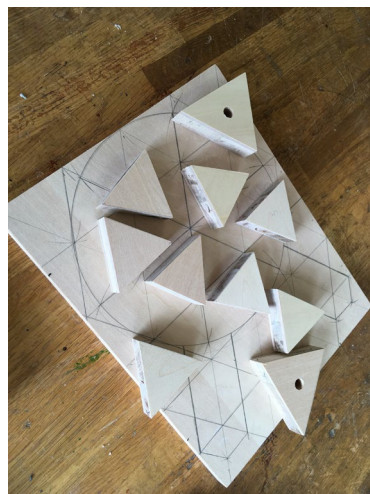
三人三様の個性豊かな木のおもちゃ、只今制作中

～木曾青峰高校インテリア科3年の女子高生3人～

木曾川流域水源の里基金を活用して、長野県木曾町にある木曾青峰高校インテリア科3年生に、地元の間伐材などを使って、ベンチや玩具の制作依頼を行ってきました。

2011年(平成23年)2月の名古屋市東山動植物園へベンチ12脚から始まり、2013年2月名古屋市科学館へ9種類の木製玩具、2014年2月名古屋城天守閣へベンチ4脚、同年2月JR木曾福島駅前バス待合室にベンチ4脚、2015年3月名古屋市科学館へ4種類の木製玩具、同年6月名古屋市子ども子育て支援センターに木製のおもちゃ、そして2016年3月名古屋市科学館へ4種類の木製玩具を贈呈。

2017年は3月10日、名古屋市科学館に2種類の木製玩具を贈呈。2018年3月9日に木曾五木(ヒノキ、サワラ、アスナロ、コウヤマキ、ネズコ)を使ったおもちゃを寄贈。2019年は2月20日に2つの木製玩具を贈呈。そして、2020年2月19日午前11時から名古屋市科学館で、予定していたおもちゃの贈

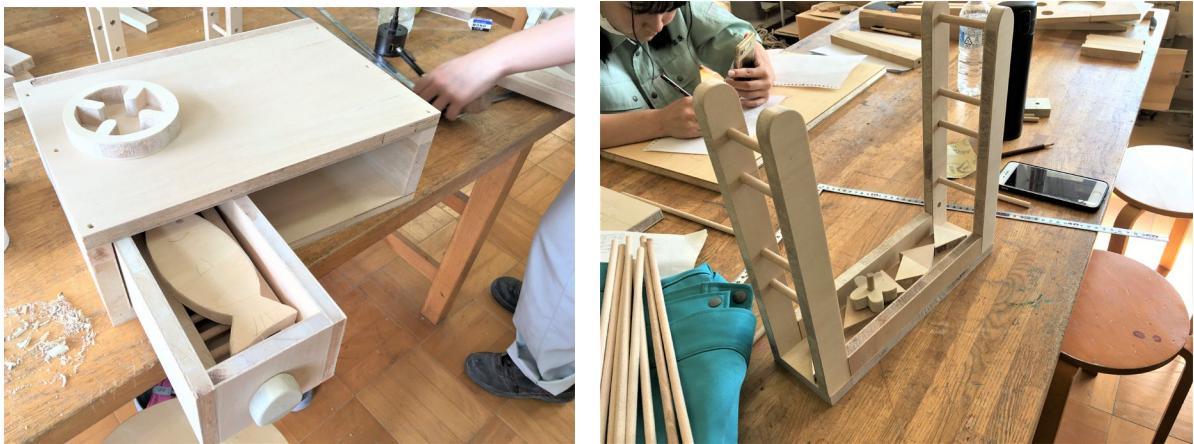


呈式は、主役の高校生が「コロナ」の影響で参加できなくなってしまいました。3人の男子高校生が制作した3種類のおもちゃをみんなの会が代行して贈呈し、科学館からの感謝状を受け取り、後日学校に届けました。

現在までに科学館には、木曽青峰高校インテリア科の高校生が制作した25の木製玩具が贈呈されています。

今年度もインテリア科3年の女子高校生3人が、それぞれ個性あふれる木製のおもちゃを製作しています。現在進行形のおもちゃの写真を送ってもらいました。ご覧ください。

どのように変化していくのか、完成した3つのおもちゃは、2021年2月か3月、科学館に贈呈します。ワクワクします。楽しみです！（かわさき）



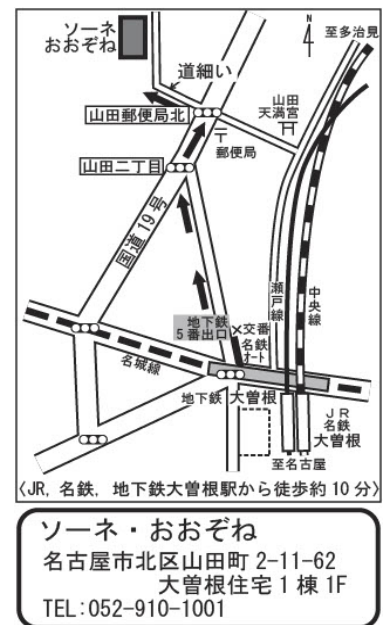
<お知らせ> 総会&木曽川上下流交流・連携の集い

みんなの会の第11回総会を2021年1月9日（土）午後1時30分から名古屋市北区にある大曾根住宅1階の「ソーネ・おおぞね」ホール（地下鉄大曾根駅5番出口、徒歩10分）で行います。総会では①2019年度活動報告 ②2019年度会計報告（収支決算） ③「木曽川流域水源の里基金」の報告と今後の運用について ④2020年度活動計画 ⑤2020年度予算などについて、報告・提案します。

続いて、午後2時過ぎから木曽川上下流交流・連携の集いを行います。

コロナウイルスやインフルエンザの関係で、文書による総会も検討していきます。2020年12月20日前後までには、会員の皆さんに総会開催方法について、ご連絡します。

よろしくお願ひします。



水源の里を守ろう 木曽川流域みんなの会

連絡先：〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11 斎藤事務所気付
TEL 052-745-1001 FAX 052-741-2588 mail:suigenosato@gmail.com